

貸借対照表
2013年12月31日現在

栗山興産株式会社
(単位：円)

目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,280,273	流動負債	685,973
現金・預金	269,473	支払手形	414,133
受取手形	215,056	買掛金	111,434
売掛金	576,346	短期借入金	70,000
製品・商品	172,780	未払金	1,059
仕掛品	0	未払費用	14,803
原材料	32,585	未払法人税等	57,640
貯蔵品	4,426	その他流動負債	8,701
前払費用	1,909	未払消費税	6,744
未収入金	0	リース債務(流)	1,459
短期貸付金	365		
繰延税金資産	6,124	固定負債	6,053
その他流動資産	1,209	その他負債	0
未収消費税	0	リース債務(固)	6,053
貸倒引当金	0		
		負債合計	692,026
固定資産	83,286	(純資産の部)	
(有形固定資産)	82,905	株主資本	671,533
建物	1,208	資本金	18,000
構築物	1,638		
機械装置	70,049	利益剰余金	653,533
車両運搬具	719	利益準備金	4,500
工具・器具・備品	1,309	その他利益剰余金	649,033
有形リース資産	7,982	別途積立金	200,000
建設仮勘定	0	繰越利益剰余金	449,033
(投資その他の資産)	381		
繰延税金資産	256	純資産合計	671,533
その他資産	125		
貸倒引当金	0	負債・純資産合計	1,363,559
資産合計	1,363,559		

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

135,092 円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 165,808千円